

主な記事

平成23年度

町成人式

薬草産地化

プロジェクトほか



北緯40度 彫刻とホッケーのまち

# いわてまち

2

No.632

2012年2月1日

新成人  
笑顔で見上げる  
輝く未来

恒例の町成人式が行われました。式典を終え、仲間と集まつた新成人たち。「俺たちには輝く未来が待っている!」と言わんばかりの希望に満ちた笑顔で未来を見上げました。(1月8日、プラザあい)  
関連記事2~8ページ



記念講演

## 「どのような大人になるか」

### 【講師プロフィール】

昭和32年東京都生まれ。中央大学法学校卒業後、昭和62年に弁護士登録。第二東京弁護士会所属。日本テレビ「行列のできる法律相談所」などにレギュラー出演。趣味はトライアスロン、バーレーボール。

## お金で買えない価値身に付け 顔でいさつできる大人に—

人は大体、自分に優しく他人に厳しいものですが、自分に優しいのと同じように他人にも優しくしてください。これが人権の第一歩。自分も相手も尊重される人間。それをお互いに認めることが大切です。日本人は肩書きを重視します。名刺交換していさつするとき、どこを見ますか。あいさつは普通、相手の顔を見てするものです。ところが、日本人は名刺を見ているのです。肩書きも大事ですが、素の人間同士が魅力的な顔で「はじめまして」と言えるかどうかが大切です。自分と他人が向き合い、肩書きに関係なく、あいさつできる人間になりましょう。肩書きがなくても十分その人の個性、魅力がある大人になってくれたらいいなと思います。また、人生にお金は大切ですが、お金では買えないものを身に付けてください。それは愛情や正義、公正、公平といったもの。人生の中では大切な価値です。他人と自分は五分五分。その間に正義や公平、平等が存在しています。そういうものを大切にしながら、体、頭、心を鍛えて人として熟し、明日の日本を支える立派な大人になつてほしいと思います。



講演後、新成人を代表して沢口真希さんが講師へ花束を贈呈



## 誓いの言葉

### 新成人代表

高橋 亮さん(下鳴沢)

新たな人生の門出である成人の日を迎えたのは家族や仲間たち、そして町の人たちの温かいご指導のおかげと実感し、感謝しています。

昨年は未曾有の大震災がありました。このような状況の中、新成人の私たちにできる事は家族や仲間、地域の絆を大切にしながら自分や地域の飛躍のために日々、前に進んでいくことです。常に変化を続ける社会において、未来を担う一員として社会に貢献できるよう、常に全力でまい進していくことを約束します。

# 平成23年度町成人式 20歳の門出 *The 20th Anniversary*

式典終了後は、テレビのバラエティ番組などにも出演する弁護士の菊地幸夫さんが、「どのような大人になるか」と題して記念講演を行い、新たな人生の門出を迎えた新成人たちにメッセージとエールを送りました。

ふるさと岩手町に誇りを持ち、仲間と友情を育み、心優しく元気に成長されることを期待します」と式辞を述べました。

式典終了後は、テレビのバラエティ番組などにも出演する弁護士の高橋亮さんが、誓いの言葉を力強く述べました。でも挑戦する勇気を持ち、将来の担い手として大きく飛躍することを願います。耐力を培い、いかなる場面もそれません。日々変わり行く社会において、新成人の皆さまが教養と英知、忍耐力を培い、いかなる場面でも挑戦する勇気を持ち、仲間と友情を育み、心優しく元気に成長されることを期待します」と式辞を述べました。

平成23年度町成人式は1月8日、岩手広域交流センター・プラザあいで行われ、若さと希望にあふれる156人の新成人が大人の第一歩を踏み出しました。

本年度の成人式の対象者は、平成3年度生まれの194人。当日は8割を超える156人が式典に出席しました。式典では、民部田幾夫町長が「これから的人生、昨年の東日本大震災のような厳しい試練があるかもしれません。日々変わり行く社会において、新成人の皆さまが教養と英知、忍耐力を培い、いかなる場面でも挑戦する勇気を持ち、将来の担い手として大きく飛躍することを願います。

# 新紹介 成人

出席者156人のうち、151人の  
皆さんから協力をいただきました。  
なお、氏名下の地区名は、転出した人  
は出身・帰省先を掲載しています。  
(順不同、敬称略)



成人式  
ギャラリー







①消防団員の一糸乱れぬ整列②③堂々と行進する婦人消防協力隊と車両部隊④安全を誓う武田防犯隊長と隊員たち⑤引き締まつた表情で整然と整列する交通指導隊員たち

# 岩手町

## 消防団 婦人消防協力隊 交通指導隊 防犯隊

新年を迎えたこの日、町の安全・安心を守る町の消防団(早坂信一団長)と婦人消防協力隊(朽木ヨシミ隊長)、交通指導隊(瀬川実隊長)、防犯隊(武田茂隊長)が本年の活動を開始しました。

1月3日は、恒例の町消防出初式が行われ、町の消防団員や婦人消防協力隊員、消防署員ら約500人と消防車両30台が役場駐車場に集結。式では統監の民部田幾夫町長が「東

日本大震災では消防団の活躍が多く住民の命を守りました。地域防災力を高めるという視点に立ち、その要となる皆さまのさらなる活躍を期待します」と訓示。早坂団長が「団員一丸となり、町民の生命、財産を守る任務遂行に全力を尽くします」と誓いました。また、大町地区では、威風堂々とした分列行進を行い、高い士気と強い使命感を披露。沿道の観衆を沸かせました。

また1月6日は、町の防犯隊と交番指導隊の初点検がそれぞれ行われ、りりしい制服をまとった隊員たちが役場駐車場に集結。各隊長の号令に従い装備品などを点検し、使命達成への決意を新たにしました。

情熱と使命感にあふれる各団隊の活躍が、本年も大いに期待されます。

# 安全・安心の誓い新たに活動開始



## 交通栄誉章「緑十字金章」 一條武照さん(79)=柳橋=が受章

交通安全国民運動中央大会(主催(財)全日本交通安全協会)は1月17日、東京の日比谷公会堂で行われ、町交通安全協会の一條武照会長が交通栄誉章緑十字金章を受章しました。

一條さんは、町交通指導隊長や町交通安全協会会長を歴任するなど、55年間にわたり町の交通安全に尽力。長年にわたるその功績により、交通安全関係では最高の栄誉とされる同章を

受章したほか、内助の功で支えた妻トシ子さん(72)には同協会より感謝状が送られました。受章した一條さんは1月19日、民部田幾夫町長に受章を報告。「『世のため、人のために尽くせ』という父親の言葉を糧にして努力してきました。今後も事故のない明るいまちづくりに力を尽くしたい」と話しこれからも町の交通安全を守り続ける決意を新たにしました。



民部田町長に受章を報告する一條さん㊨

## 農業の変化に対応し 町が展開する新施策

# 薬草 产地化プロジェクト

町は、著しく変化する農業情勢に対応した新たな施策として、農家所得の安定と農業者の高齢化対策などを目的に、本町を中心に全国有数の栽培規模を誇る「薬草」に着目。来年度から本格的な产地化支援に乗り出します

### 全国有数の「薬草」生産地 岩手の本拠地は岩手町

4町1村に200人を越える組合員を擁し、平成23年度は蘇葉（薬用シソ）をはじめ11品種を約43haに栽培し、24年度はさらに面積を拡大。その規模は全国有数です。

### 高まる需要進む产地化 転作品目として期待大

薬草は、①契約栽培によつて、医療品原料としての品質に適合する物は全量が一定価格で買い取られるため、安定した収入が見込まれること②種や資材の供給などの優遇措置が多いため、初期投資が少なくて済むこと③栽培面積の下限がないため、小面積からでも栽培を始めることができます。多くの魅力を持つています。

さらに近年は、医療用漢方製剤を中心には需要が急増し、製薬会社が国内産地の拡充と開発に力を入れている状況にあり、農業情勢が一段と厳しさを増す中においても安定した収入が期待できることから、将来性の豊かな転作品目として注目を集めています。また、使用できる農薬が限

られており除草などの管理作業に手間はかかるものの、ほかの農作物に比べて比較的少ない労力で栽培できることから、高齢化時代に適した品目としても期待されています。

### 新たな農業施策として 来年度から本格支援へ

町は平成22年度から、こうした薬草の将来性に着目し、農商連携プロジェクトの一環として支援を模索してきました。今後は、町広報紙などを通じて効果的な情報提供を継続的に行なうほか、平成24年度からは、新たに同組合を対象とした町単独補助事業の創設を予定するなど、さらなる产地化に向けて支援を本格化させていく方針です。

### 平成24年度・春期の栽培希望者を募集しています



豊かな将来性に着目  
行政も支援します

(農) 岩手薬草生産組合  
高野 兼蔵 顧問

37年にわたりふ美績  
拠点はこの町です



(農) 岩手薬草生産組合  
岩井マイ子 組合長

やりがいある「薬草」  
一緒に作りませんか

昭和50年にわずか数人で発足以来、多くの皆さんに支えられ、今日では3市4町1村に200人の組合員を擁する規模になりました。その間、一貫してこの町を本拠地とし、町の農業の発展に力を尽くしてきました。今後も町と力を合わせ、一層の産地拡大に取り組みたいと考えています



蘇葉（薬用シソ）の収穫風景。茶など収穫方法が類似する品目用の機械や資材を改造、流用している（8月11日、葉木田）

①～④加工業のようす。町内2カ所の乾燥調製施設では、収穫を終えた7月から2月にかけ、加工業が行われた後、製薬会社に納品される

ささらに近年は、医療用漢方製剤を中心には需要が急増し、製薬会社が国内産地の拡充と開発に力を入れている状況にあり、農業情勢が一段と厳しさを増す中においても安定した収入が期待できることから、将来性の豊かな転作品目として注目を集めています。また、使用できる農薬が限

られており除草などの管理作業に手間はかかるものの、ほかの農作物に比べて比較的少ない労力で栽培できることから、高齢化時代に適した品目としても期待されています。

新たな農業施策として  
来年度から本格支援へ

町は平成22年度から、こうした薬草の将来性に着目し、農商連携プロジェクトの一環として支援を模索してきました。今後は、町広報紙などを通じて効果的な情報提供を継続的に行なうほか、平成24年度からは、新たに同組合を対象とした町単独補助事業の創設を予定するなど、さらなる产地化に向けて支援を本格化させていく方針です。

岩手町役場 農林環境課

千葉 照雄 課長

農業情勢が一段と厳しさを増し、所得確保が大きな課題となる中で、安定した収入が見込めれる薬草は、非常に将来性のある品目といえます。今後は、補助事業の創設を皮切りに、さらなる产地化に向け各種支援を充実させ、町の農業振興と農家の所得向上を図りたいと考えています



(農) 岩手薬草生産組合  
伊藤 浩史 総務部長

当組合は、栽培希望者を随時募集しています。薬草の植付けは、春期と秋期に行われますが、現在は、春期分（4月下旬）を4月15日の締め切りをめどに募集しています。申し込みを希望する方は、栽培を希望する品種や面積などについての相談を行いますので下記までご連絡ください。

なお、申し込み状況によっては、希望に沿いかねる場合もありますので、あらかじめご了承ください。たくさんの申し込みを心からお待ちしています。

### 問い合わせ先

(農) 岩手薬草生産組合  
岩手町大字五日市12-9-5  
※事務所は国道4号線久保口交差点付近  
☎ 62-6006

# 町の在宅福祉サービスのご案内

## 例えば…

- 高齢になって、ひざ・腰が痛くて、自力で歩くことが困難になってきた
- 独り暮らしをして頑張っているが不安になってきた
- 病院で1ヶ月入院し退院してから、寝たきりになった
- 物忘れが多くなって、認知症かなと思う
- トイレに間に合わず、もらしてしまう

などの状態にある人

## 【在宅福祉サービス一覧】

※料金欄は、有=有料、無=無料、所得=世帯の所得に応じて料金の有無あり、助成=支払額の一部を助成

サービスの名称	サービスの内容	料金
生活管理指導員派遣（ホームヘルパー）	介護保険認定で非該当となった人などに対し、生活管理指導員（ホームヘルパー）が日常生活の支援や家事などを行います	有
生きがい対応型デイサービス	介護保険認定で非該当となった人などに対し、デイサービスセンターで入浴や健康体操などを通じて要介護状態への進行を予防します。※送迎あり	有
老人日常生活用具給付	独り暮らしの人や寝たきり状態の高齢者がいる世帯で、火の不始末が心配な場合に、電磁調理器や自動消火器などを給付します	所得
外出支援サービス	電車やバスなどを利用することが難しい、寝たきりの人や車いす利用者に対し、通院などの外出時に専用の車両（車いす対応・ストレッチャー対応）で送迎します	有
寝具洗濯等サービス	寝たきりの高齢者などの寝具の洗濯などを行い、清潔な寝具で生活できるよう支援します	無
食の自立支援サービス	独り暮らしの高齢者などに栄養バランスのとれた食事を届けながら、安否確認も行います	有
緊急通報体制等整備事業	心疾患など生命に危険な病気を患う独り暮らしの高齢者に緊急通報装置を貸与し、急変時に速やかに対応します	無
軽度生活援助	独り暮らしの高齢者などに対し、障子張りや玄関前の草取り、雪かきなどの軽度な援助を行います	無
ねたきり老人等衛生材料給付	自宅で介護を受けている寝たきりの高齢者や障がい者がオムツを使用している場合、その経費の一部を給付券として交付します。（要介護2以上または身体障害者手帳の下肢または大幹が1、2級）	助成
ねたきり老人等訪問理美容サービス	寝たきりの高齢者の自宅で理美容サービスを行います ※申し込みは社会福祉協議会まで	無
高齢者及び障害者によるやさしい住まいづくり事業	介護保険認定者や障がい者が、自宅で自立して生活できるようにするため、段差の解消や浴槽の改修などをを行うための費用を助成します	助成
介護家族いこい事業	介護家族の負担を軽減するため、介護施設で要介護者のショートステイ（短期宿泊）を利用した場合、年7日間を上限として費用の一部を助成します	助成
介護家族宿泊施設利用助成	要介護者が上記事業のショートステイを利用している期間以内で年2泊を限度に、温泉などで疲れを癒してリフレッシュできるよう宿泊費用の一部を助成します	助成
高齢者等住宅用火災警報器設置費助成	設置義務化されている住宅用火災警報器（煙式）をまだ設置していない高齢者世帯に対し、その購入や設置に要した経費を助成します	助成

町は、お年寄りがいつまでも自宅で快適に過ごすことができるよう、65歳以上で独り暮らしの人などを対象に、さまざまな在宅福祉サービスを行っています。サービスには、有料サービスと無料サービスがあり、利用には介護保険の認定の有無や住民税の課税状況など一定の要件が必要となります。

申請の受け付けは、役場健康福祉課の地域包括支援センターで行っています。なお、相談は、介護や支援が必要な状態になったときだけでなく、そのような状態になる前でも結構ですので、ぜひお気軽に相談ください。

【問い合わせ先】  
役場健康福祉課 地域包括支援センター（1階窓口⑥番）☎ 62-2111 内線 515・518

同社の立ち上げは、3年生の就職希望者5人が履修する「文書デザイン」の授業の中で行われた取り組み。社員（生徒）は、4～5人で作る1グループが1つの商店を担当し、実際に商店を訪問。注文を受けたポップをパソコンなどを使って作成し、打ち合わせや試作を重ねて完成・納品へとこぎ着けました。グループの主任を務めた千葉夢希さんは、「お客様の印象に残るように、商品を引き立てる色合いや写真にするのが難し

かった。自分が作つたものが地域の人見えてもらえるのはうれしいです」と話し、ポップを受け取った「肉のふがね」の府金早苗さんは、「ポップがあると店の中が明るくなります。一生懸命取り組んだことは皆さん社会に出てからの自信にもつながる

と思います」と生徒たちのポップ作成を歓迎しました。同校の小田島校長は、「この取り組みは、生徒たちが外に自分をアピールするための仕掛け。生徒たちが積極性を磨き、自信を付けてそこで将来に役立ててほしい」と狙いを話しました。

広告）を納品しました。同社の立ち上げは、3年生の就職希望者5人が履修する「文書デザイン」の授業の中で行われた取り組み。社員（生徒）は、4～5人で作る1グループが1

沼宮内高（小田島均校長、生徒209人）が立ち上げた架空の会社「NKデザイン工房」は昨年の12月、大町商店会の14店舗に商品ポップ（販売促進のための

生徒の社会体験「自己開発」狙い

# 大町商店街トイロドリ 沼高生の手作りポップ



①②③「NKデザイン工房」が作成したポップの一例④ポップを納品する「社員」たち。ポップの作成は、実際に店舗へ足を運んで店側から注文を受け、各店の要望を取り入れるなどコミュニケーションを図りながら進められた

## 第3回 岩手町“挑戦する”野菜総合産地 岩手町からの発信 まちづくりフォーラム



日時 3月3日(土) 受付：午後1時～ 開会：午後1時30分～  
会場 岩手広域交流センター・プラザあい

町ふるさと大使 国際情勢コメンテーター  
基調講演 ペマ・ギャルボ氏 演題 「野菜総合産地・岩手町からの発信～フーテン王国に学ぶ岩手町の将来像～」

基調講演のほか、これまであまり知られていない町内の活動や新商品を紹介。町の新しい魅力を掘り起こします！だれでも参加できますので、ぜひ皆さんでお越しください。

【問い合わせ先】 役場企画商工課産業創造推進室 ☎ 62-2111 内線 212

入場  
無料

いつか  
どこかで



## 仲良くスクラム組んで

「コンビニの店員になりたい」香哉君と「サッカー選手になりたい」正志君、「機械の整備士になりたい」翔吾君、「電気工事士になりたい」流斗君、「二チコン岩手に勤めたい」健斗君は、いつも仲良し5人組。学校では、それぞれ放送委員、保健給食委員、児童会執行部、放送委員会副委員長、図書委員会副委員長として活躍します。3学期は、「漢字の学習をがんばりたい」健斗君と「スキーがうまくなりたい」というほかの4人。目標に向かって、スクラム組んで進みます。

## 80歳まで山仕事一筋

たかむら いさむ  
**高村 勇さん (81歳、大平)**

「斜面に伸びた、直径1メートルを超える桜の木を倒したのが最後の仕事でした」と話す勇さん。19歳で林業に就き、80歳になった昨年の春まで続けました。「ずっと、山仕事一筋。切り株の上に大人3人があぐらを組んで座れるほどの大木も切ったことがあるし、建物のそばの木を切るときは、心臓が止まるような思いをしたけれど、思った方向に倒れたときはなんとも言えない気持ちよさがありますよ」と長年の仕事を振り返ります。「今は暇さえあれば黒石温泉に行っています。旅行していろいろなところも歩いてみたいですね。ほらを吹いたらカラオケで歌ったり、楽しくやるのが一番ですよ」と、ようやく訪れた退職後の人生を楽しみにしています。

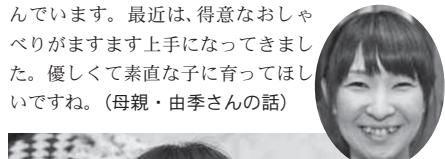


## いわてっ子 270

英一さん・由季さん夫妻の二女・横田

たきもと ゆうき  
**滝本 結月ちゃん (2歳6ヶ月)**

とても活発な子です。外で遊んだり、テレビの音楽に合わせて踊ってみせたり、よく体を動かして遊んでいます。人形遊びや絵本も大好き。絵本は、私や姉(優菜さん、9歳)が読んであげたり、自分でも読んでいます。最近は、得意なおしゃべりがますます上手になってきました。優しくて素直な子に育ってほしいですね。(母親・由季さんの話)



お元気ですか  
270

## みんなのたまご

皆さんができる楽しいスペースです。あなたもぜひ登場を。町政や町民生活に関して、言いたいこと、聞きたしたことなど、あなたの声やあなたの地域・職場での話題をお寄せください。投稿と問い合わせは役場企画課広報係内線217まで。



①芸人の継り出すネタで笑い声に包まれた入りの会場②岩手県住みます芸人の「アンダーエイジ」③得意の歌や物まねで盛り上げた「エハラマシヒコ」④「ちがうかう！」のネタでおなじみのお笑いコンビ「ものいい」



震災からの復興」と題し、講

町産業経済人ネットワー

ク「石神サロン」は昨年の12

月21日、本年度第3回目の

研修会を石神の丘美術館な

どで行いました。当日は

町内の農商工関係者など約

100人が参加。銘菓「かも

めの玉子」でおなじみのさ

いとう製菓㈱(大船渡市)の

斎藤俊明代表取締役社長が

震災からの復興

と題し、講

演を行いました。

斎藤社長

は、大船渡市を襲った津波

の映像とともに同市や同社

の被災状況を説明。震災後

一日も早い事業再開と社員

の生活再建の2点に「一番使

命感を持ってやってきた。

経済の復活、振興なくして

地域の復興はあり得ない

と力強く話しました。

講演後は、「いわてまち

焼きうどん」や昨年発売さ

れたドレッシング「キヤベ

タリアン宣言」、町内に工房

R.U.など町内の産業情報

を構える「パン工房美H A

が紹介されたほか、地元食

材を食しながらの交流会が

開かれ、参加者たちは盛ん

に情報交換しながら、互い

の交流を深めました。

新年を迎えた町に明るい笑いを届けようと町商工会(八戸保彦会長)と一方井商店会田政雄会長が主催した「よしもと初笑いライブ」は1月6日、岩手広域交流センター・プラザで開催されました。

当日は、テレビなどで活躍するよしもと所属のお笑い芸人、ものいい、エハラマ

約1時間にわたって次々と3組が出演し、観衆を巻き込みながらの軽妙なトークやコント、歌、物まねなどを約1時間にわたって次々と披露。子どもからお年寄りまで約300人が詰め掛けた会場は、ネタが披露されるたびに笑い声や拍手が沸き起こり、大いに盛り上がりました。

夫婦で会場を訪れた山形翔太さん(27)、知世さん(26)は、「愛宕下ト」は、「町のイベントでお笑いライブは初めてですね。とても面白

白くて、初笑いできました。笑つて暮らせる明るい年になればいいですね」とライブを楽しみ、笑いにあふれる一年を願いました。

## さいとう製菓㈱の斎藤社長「石神サロン」で復興を語る

## 社会福祉協議会を通じて義援金

岩手ライオンズクラブ  
岩手ライオンズクラブ（佐々木光雄会長、会員43人）は昨年の12月26日、町社会福祉協議会を訪れて日本大震災の被災者へ義援金を送りました。同クラブは12月3日、歳末助け合い芸能大会を主催。その中で行つたチャリティーオークションの売上金から10万円を義援金としました。

岩手ライオンズクラブの佐々木会長は「毎年福祉団体などに寄付していましたが、今回は少しでも被災者の役に立ちたいと思い、義援金としました」と被災地の一日も早い復興を願いました。



町社協の藤村事務局長㊨へ義援金を手渡すクラブの役員たち

## 中学生英語研修派遣の結団式



有意義な研修にと意気込む12人の派遣生と期待をよせる関係者

町が実施する中学生国内英語研修の結団式は昨年の12月27日、役場会議室で行われ、町内4中学校の派遣生12人が出席しました。各校の代表者から抱負が述べられると民部田幾夫町長は「語学の重要性を身に付けるための有意義な研修にしてください」と激励。川口市中2年の唯子優璃さんは「人生を生きせる英語力を身につけたい」と意気込みました。なお研修は、京都府の研修施設で1月10日から3泊4日の日程で行われました。

## 4中学から選抜の12人

## スポーツ

## 健康体力づくり推進宣言のまち 岩手町

2012年町元旦健康マラソン開催  
新年の思い新たに300人が快走

第38回町元旦健康マラソンは1月1日、岩手広域交流センター・プラザあいを発着点とする2kmと4kmの2種類のコースで行われました。同マラソンは昨年、大雪で中止となり、今回は2年ぶりの開催。当日は、最低気温マイナス10度を下回る厳しい寒さの中、町内外から300人が参加しました。参加者たちは、民部田幾夫町長の号砲を合図に勢い良くスタート。新年の健康と安全を願って思い思いの速さで走り始めました。



①新年の走り初めを勢い良くスタート②開会式に臨む参加者たち③仮装ランナーたちが大会を盛り上げた④⑤笑顔で走る親子連れの参加者たち⑥凍結路面をものとせずビッコランナーも激走



## 町婦人団体連絡協議会が寄贈

町婦人団体連絡協議会（大坊邦子会長）は昨年の12月6日、町長室を訪れ、車いすを寄贈しました。車いすは、同協議会が11月27日に開催した歳末チャリティーショーの益金で購入した2台。民部田幾夫町長は車いすの寄贈はとてもありがたい。一方井公民館と川口公民館に設置しています。同協議会による車いすの寄贈は、これまでに寄贈された車いすは森のアリーナなど町の各施設で活用されています。



民部田町長に車いすを手渡す町婦協大坊会長㊨と田村副会長㊧

## 2台の車いす町施設へ

## 恒例の「町新春囲碁将棋大会」



三浦永士君㊨の厳しい攻めに思わず苦笑いの柳本雄紀君㊧

## 24棋士が年初めの対局

恒例の町新春囲碁将棋大会は、1月15日、ゆはず交流館で開催され、町内の24人が年初めの対局に臨み、熱戦を繰り広げました。大会結果は以下のとおりです。（3位まで）

◆ 囲碁	▽ Aクラス①武田久②松浦雅嗣
西田利夫	▽ Bクラス①藤原正男②松原正③笹久保幸男④齊藤良雄
同B	①五十地一志②小笠原秀一③沢口勇次郎④滝本怜央⑤葛城晴斗
①三浦永士②柳本雄紀③大石風幸	▽ 一般A①中井佑②同B

ニュースポーツで和氣あいあい  
世代間交流にキャベツマン参加

世代間の交流を深めようと沼宮内公民館は1月11日、「こども体験クラブ in 冬休み」を開催しました。当日は、冬休み中の小学生や地域の高齢者など48人が参加。かるた遊びや餅つきのほか、ニュースポーツを行いました。囲碁ボールなど3種目が行われたニュースポーツには、キャベツマンも参加。子どもや高齢者たちと一緒にになって各種目を楽しみました。沼宮内小3年の工藤洸汰君は「キャベツマンは元気で強かったです。楽しかったです」と交流を喜びました。







# お知らせ

## 役場 62-2111

# 2月

募集しています

「希望郷いわて」に  
皆さんの意見を！

県は、県政に関するアンケートに回答する「希望郷いわてモニター」を募集しています。

【資格】 県内在住の満20歳以上の人(平成24年4月1日現在)

【募集人員】 200人

【任期】 平成24年4月1日～平成26年3月31日の2年間

【謝礼】 記念品を贈呈(年1回)

【応募方法】 必要事項を明記し、官製はがき、ファックス、Eメールで応募

【応募期限】 3月9日(金)

【応募と問い合わせ先】 県庁広聴広報課「希望郷いわてモニター」募

集係 ☎ 019-629-5281 または県公式ホームページ <http://www.pref.iwate.jp/> (「希望郷いわてモニター」で検索)へ

### いわていきいきプラン2014意見募集

県は、平成24年度(2012年度)から平成26年度(2014年度)までの高齢者福祉計画と介護保険事業支援計画を策定します。計画策定の参考とするため、広く県民の皆さんから意見を募集しますので、公表資料を参照のうえ、下記のとおりお寄せください。

【募集期間】 2月17日(金)まで

【応募方法】 住所、氏名を明記し、電子メール、ファックス、郵送などで応募

【公表資料閲覧場所】 県庁舎1階行政情報センターまたは盛岡地区合同庁舎内の行政情報サブセンター、役場健康福祉課

☎ 019-629-5346

行われます

### 体験しよう子育て支援センター事業

町子育て支援センターは、各種子育て講習会を行います。講習会開催中は子育て支援ボランティア

AD0005@pref.iwate.jp  
**青年国際交流事業に参加しませんか**

内閣府では、平成24年度に実施する国際交流事業に参加する青年を募集しています。

【募集事業】 「国際青年育成交流」(9月)、「日本・中国青年親善交流」(9月)、「日本・韓国青年親善交流」(9月)、「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」(10月)、「東南アジア青年の船」(10~12月)、「世界青年の船」(平成25年1~3月)

【問い合わせ先】 ○内閣府子ども若者・子育て施策総合推進室国際企画担当 ☎ 03-3581-1181 ホームページ <http://www.cao.go.jp/koryu/>  
○県青少年・男女共同参画課  
☎ 019-629-5346

行われます

## 竹田 恵佳さん

No. 285  
ヤング散歩

【プロフィール】たけだ・れいか 24歳、平成18年に盛岡第四高を卒業後、専門学校を経て平成19年に盛岡高松郵便局に就職。平成22年4月から一方井郵便局に勤務。血液O型、かに座。(盛岡市玉山区)

### 仲の良い夫婦に憧れます

「地域の人たちは、皆さん優しくて親しみやすい。もっとたくさんのお客さまに郵便局を利用してほしいですね」と話す恵佳さんは、郵便局で主に窓口業務を担当。「お年寄りには、出入り口で手を貸したり、大きな声でゆっくりと話すようにしています」と細やかな心配りでお客さまを迎えます。「大変なこともあります、お客様に喜ばれると、またがんばろうという気になる」と仕事にやりがいを感じています。趣味はピアノとスノーボード。ピアノは4歳から続け、「発表会に向けて積み重ねる練習は、他のことを忘れて没頭できる大切な時間」と話す恵佳さん。理想の男性像は「一緒にいて安心できる人。いつも夫婦一緒のお客さまを見ると、私もいつかそうなりたいと思います」と仲むつまじい夫婦の姿に憧れを抱きます。

の皆さんによる託児を行いますので気軽に参加ください。詳しくは、町子育て支援センター ☎ 65-2131 に問い合わせください。

○子育て講習会

「人形のおんぶひもを作ろう」

【日時】 2月9日(木)午前10時

【場所】 ゆはづ交流館 創作室

【講師】 松森ケイ子先生

【費用】 無料

【定員】 10組(先着順)

【申込期限】 2月7日(火)

○とんとんレストラン

「保育所の給食をお子さんと一緒に食べてみませんか」

【日時】 2月24日(金)

【場所】 町子育て支援センター

【持ち物】 ご飯、箸、お茶、お子さんの歯ブラシ

【費用】 親子で1食分 270円

【定員】 10組(先着順)

【申込期限】 2月14日(火)

### 全国一斉に開設! 法務局休日相談所

法務局は、皆さんの日頃の悩みや疑問に答える相談所を開設します。

【日時】 2月12日(日)午前10時～午後4時

【場所】 盛岡地方法務局(盛岡市盛岡駅西通1-9-15 盛岡第2合同庁舎)

【相談内容】 登記、相続、戸籍、国籍、供託、家庭問題、近隣問題、いじめ・差別問題、その他困りごと全般について、なんでも相談を受けています。(秘密は厳守します)

【相談料金】 無料

【電話相談】 ☎ 0120-227-746 電話による相談も受け付けています

【問い合わせ先】 盛岡地方法務局総務課 ☎ 019-624-9861

### 建築物防災週間に 防災相談所を開設

県は、3月1日(木)から7日(水)まで、建築物防災週間を実施します。この週間は、地震、火災、がけ

崩れなど各種災害による人命と建築物の被害を防止し、安心して生活できる空間を確保するため、県民に対し、建築物の防災対策を推進することを目的にしています。

万が一災害が発生した場合、著しい被害の発生するおそれのある建築物を中心に町や消防などと共同で防災査察を実施し、安全管理の状況をチェックし、指導を行います。

この期間中、県では防災相談所を設置し住民の相談に答えます。

【相談・問い合わせ先】 盛岡広域振興局土木部 ☎ 019-629-6650

### 3月3日は耳の日 専門医が無料相談

日本耳鼻咽喉科学会は、毎年3月3日を「耳の日」として、全国の耳鼻咽喉科医が各地で無料相談を行っています。県地方部会は、次の日程で相談会を行います。

【日時】 3月4日(日)午前10時～午後1時

【場所】 岩手医科大学附属病院循環器センター8階(盛岡市中央通1-2-1)

【内容】 難聴、耳鳴りや補聴器に関する診察・検査と医療相談

【問い合わせ先】 岩手医科大学附属病院耳鼻咽喉科(〒020-0021 盛岡市内丸19-1) ☎ 019-651-5111 (内線6804)

その他

### 3月1～7日まで 春の火災予防運動

「消したはず」決めつけないで  
もう一度」を防火標語に、全国一斉に行われます。この季節は空気が乾燥して、ちょっとした不注意から火災が発生しやすくなります。

火の取り扱いには十分注意し、「火の用心」を心掛けましょう。  
また、消防署では防火座談会や

救命講習などの出前講座を随時行っていますので気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】 盛岡中央消防署岩手分署 ☎ 62-6119

### 自動車の登録検査 手続きはお早めに

毎年、自動車の登録や検査手続きが3月に集中し、窓口や車検場が大変混雑しますので、これらの手続きは、できるだけ2月中に済ませましょう。なお、車検は有効期限の1ヶ月前から受けられます。

【窓口の受付時間】 午前8時45分～正午、午後1時～4時(土・日・祝日は除く)

【岩手運輸支局ホームページ】  
<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/it/index.htm>

【自動車登録・検査テレホンサービス】

☎ 050-5540-2010

【車検予約システム】 <https://www.yoyaku.navit.go.jp/pc/reservationTop.do>

【問い合わせ先】 ○東北運輸局岩手運輸支局 ☎ 050-5540-2010

○軽自動車は、軽自動車検査協会岩手事務所 ☎ 019-639-8011

### 「ひとにやさしい 駐車場」の利用証

県では、公共施設や商業施設などにある車いす用の駐車場の適正利用を図るために、駐車場の利用に制約がある人に「ひとにやさしい駐車場利用証」を発行しています。車いす用の駐車区域を利用する人は、この利用証を掲示して利用してください。

【利用証の交付対象者】 障害者手帳を持っている人(一部対象外となることがあります)、要介護認定を受けている人、難病のため特定疾患医療を受けている人、妊産婦など

【問い合わせ先】 盛岡広域振興局保健福祉環境部 ☎ 019-629-6565

ふるさと  
岩手町紀行

## 通りすむ

— 第70回 —

通(コラ)とは物事をよく知っていること。知る人ぞ知る、岩手町の魅力をお届けしてまいります。

副菜 コーンサラダ  
カロテン(トウモロコシ、ブロッコリー、ビタミンC(キャベツ)など)

主菜 えびグラタン  
無機質(えびなど)、脂質(バター)、ビタミンC(タマネギ)など

主食 コッペパン  
炭水化物(小麦粉)

その他 牛乳 ②  
無機質(牛乳)

デザート リンゴ  
ビタミンC(リンゴ)

汁もの ミネストローネ  
カロテン(トマト、ニンジン)、たんぱく質(ペーパン、大豆)、ビタミンC(タマネギ)、炭水化物(マカロニ)



①考えた献立が給食に採用された瀬川佳菜さん②1月24日の学校給食の栄養素や材料③瀬川さんの献立は仲間にも好評。食が進みます④おいしくいただき、全員完食「ごちそうさまでした」



町学校給食センター  
小原由美子 栄養教諭

「町の子どもたちちは素直で吸収が速い。献立作成を通して食の知識を深めてほしい」と取り組みの効果を期待します。

役立てることが指導の目標」と話します。限られた給食費の中で作られる学校給食。創意工夫の取り組みは本年度、川口中でも実施されたほか、各学校のリクエストに応える希望献立や郷土料理の給食なども実施します。同教諭は「献立の工夫などで食べ物について関心を高め、自分の健康管理に

最高のこと。震災以降、仲間との絆や、ふるさとへの思いが強まつたことも要因の一つかなと思いました。会場では晴れやかな振り袖はもちろん、男性の羽織はかまも色とりどりで目にも鮮やか。そして何よりも新成人たちの目が輝きにあふれていました。自分にもそんなときがあったのか、もう忘れてしましましたが、新成人たちからパワーをもらつた気分で今月も広報作成をがんばりました。(佐藤)

町学校給食 生徒作成の献立

毎日楽しみにしているお昼ごはん  
今日の給食は私が考えた献立です



編 集 後 記

皆さんこんにちは。最後まで読んでいただき、ありがとうございます。

本年度の町成人式は、例年よりも出席者が多く、8割を超えた出席率は過去

こちらテスクです



62-2111 内線 217

皆さんこんにちは。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。本年度の町成人式は、例年よりも出席者が多く、8割を超えた出席率は過去最高のこと。震災以降、仲間との絆や、ふるさとへの思いが強まつたことも要因の一つかなと思いました。会場では晴れやかな振り袖はもちろん、男性の羽織はかまも色とりどりで目にも鮮やか。そして何よりも新成人たちの目が輝きにあふれていました。自分にもそんなときがあったのか、もう忘れていましたが、新成人たちからパワーをもらつた気分で今月も広報作成をがんばりました。(佐藤)